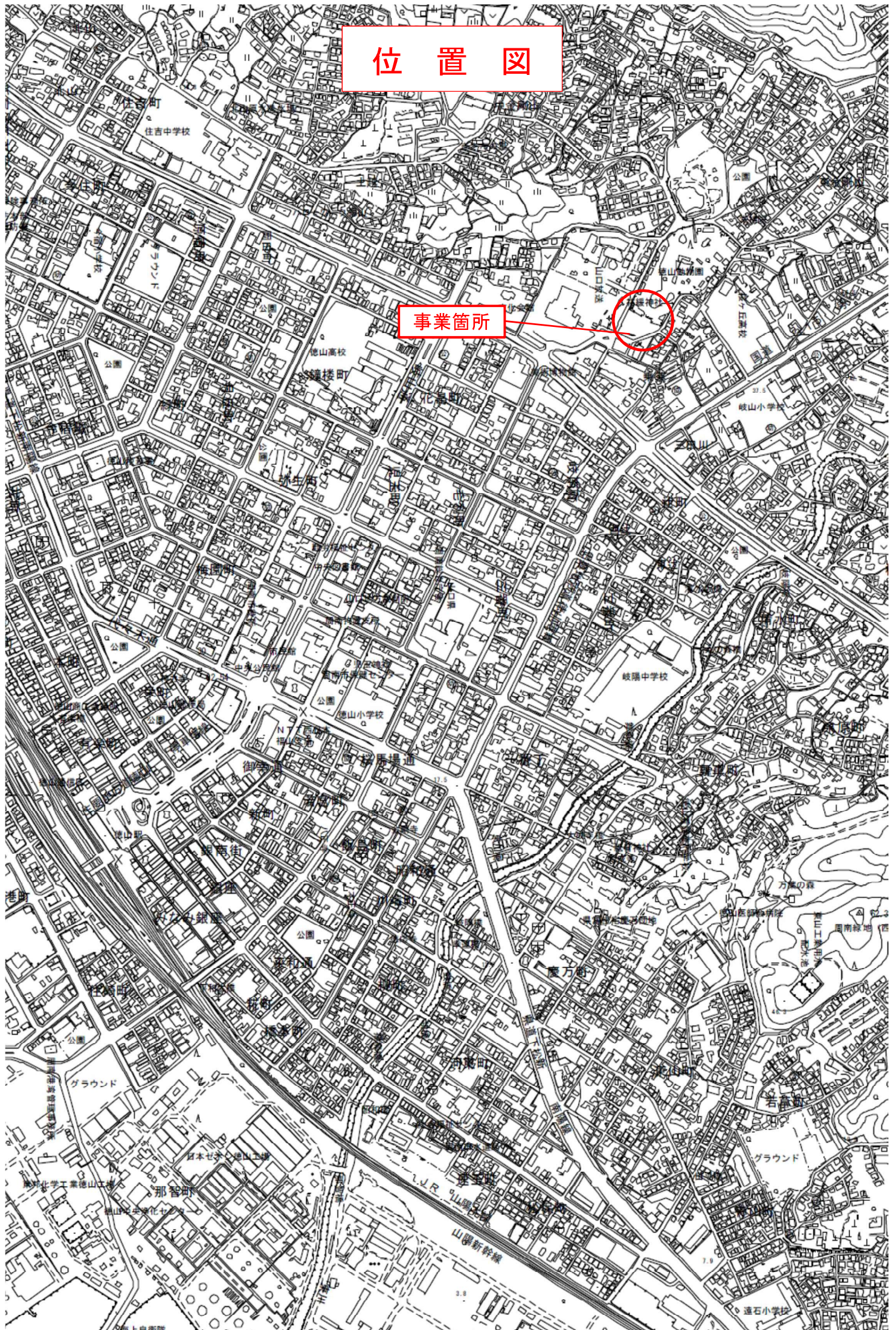
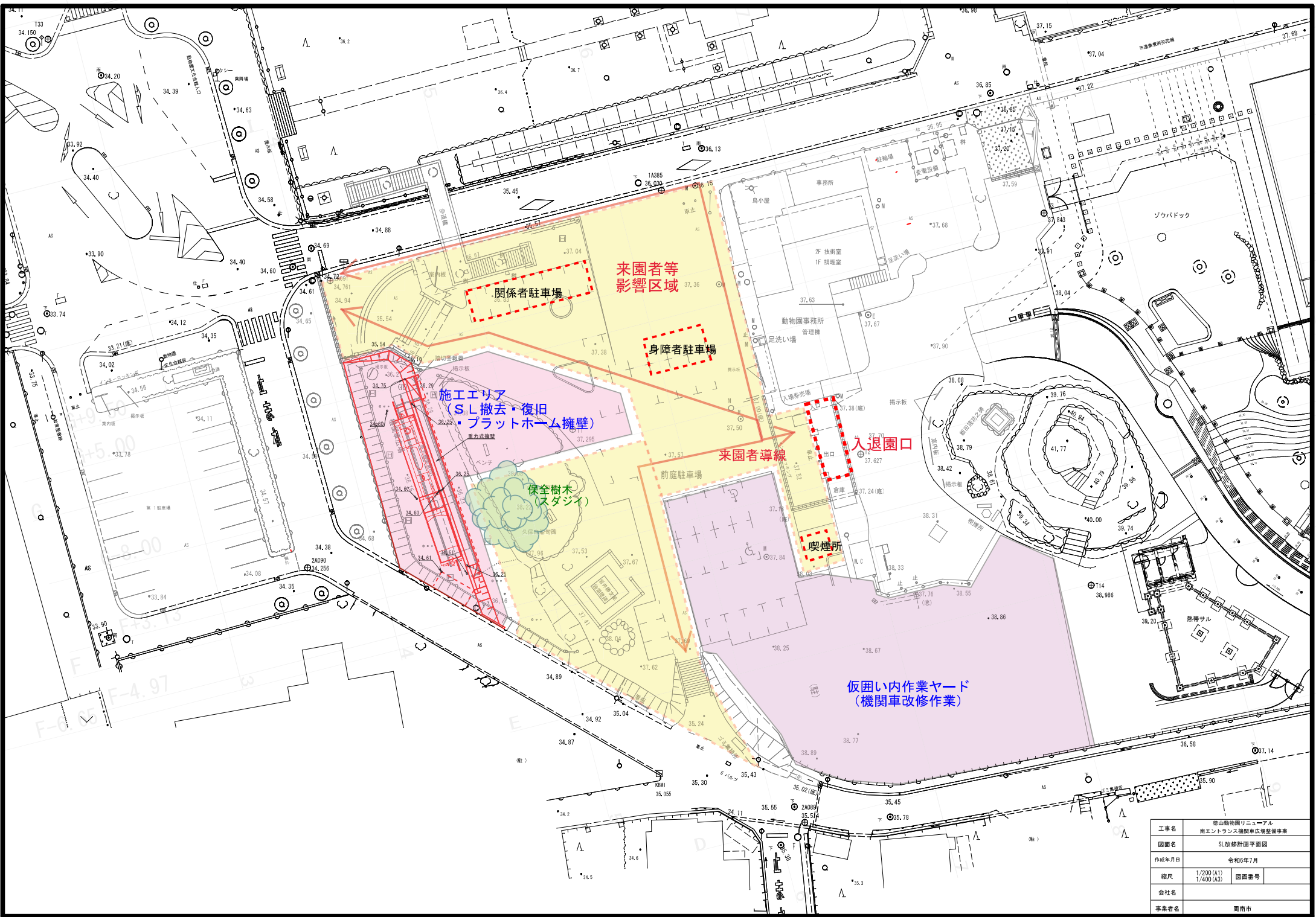


位置図

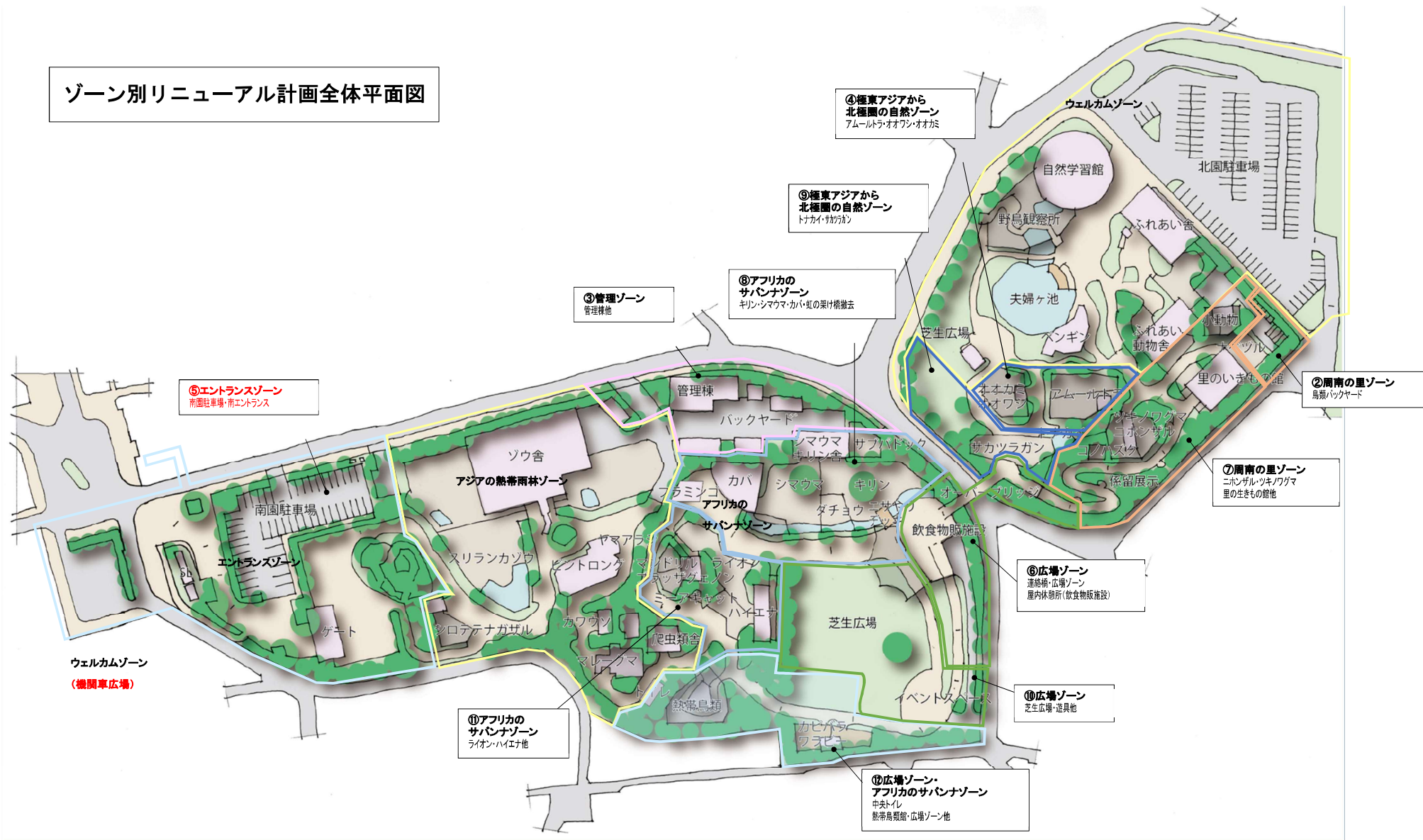
事業箇所





工事名	徳山動物園リニューアル 新エントランス機関車広場整備事業		
図面名	SL改修計画平面図		
作成年月日	令和6年7月		
縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)	図面番号	
会社名			
事業者名	岡南市		

ゾーン別リニューアル計画全体平面図



■ 周南市徳山動物園 全体鳥瞰図



（徳山動物園リニューアル事業の概要）

- 徳山公園 A= 8.1 ha（徳山動物園、文化会館、街区公園からなる総合公園かつ広域避難地としての防災公園）
- 徳山動物園面積 A=約 5ha（=リニューアル整備面積）
- 令和 4 年 3 月をもって閉園 62 年を迎えた徳山動物園では、平成 21 年度よりリニューアル事業を推進中。
（これまでの整備経緯）
 - 平成 21 年度にリニューアル当初基本計画を策定し、平成 25 年度より北園の工事に着手
 - その後、平成 26～30 年度にかけて北園駐車場、るんちやるんちや、自然学習館、野鳥観察所、ペンギンプール、ふんすい広場をオープン
 - 平成 28 年度より南園の「アジアの熱帯雨林ゾーン」整備に着手。平成 31 年 4 月にゾウ舎の一部、令和 3 年 11 月にゾウ舎のゾウプール、爬虫類館、マレーグマ舎ビントロン舎、令和 4 年 8 月にはよこはま動物園ズーラシアより 2 棟のアカアシドゥクラングルを迎え入れ、熱帯サル舎をオープンし、ゾーン全体（約 0.9ha）の工事を完了
 - 令和 3 年 4 月に、リニューアル基本計画を変更（現在総事業費 約 70 億円）：都市構造集中支援補助事業
- 令和 6 年 2 月現在の整備率は 45.4%（面積ベース）に達しており、令和 14 年の完全オープンを目指す

機関車広場イメージパース

